

平成29年10月10日

第6号 (仮称) 厚田小中学校 設立準備委員会だより

発行 委員会事務局 (石狩市教育委員会総務企画課)

このたよりでは、厚田区の統合新設校(義務教育学校)の平成32年度の開校に向けて、設立準備委員会で検討している内容や教育委員会、学校、PTAなどの動きを中心にお伝えしています。

今号では、9月4日に開催した第6回会議の内容をお知らせします。

新委員さんの紹介

PTAの役員改選、教職員の異動によって、次の3名の方が新しく委員となりました。

角田由希さん(望来小学校PTA会長)

高畑幸恵さん(厚田保育所父母の会会長)

青山 司さん(聚富小中学校校長)

「3階建て」の新校舎を提案

市教委から、(仮称)厚田小中学校の建設工事基本設計(配置計画案)について、次のとおり説明しました。

◆ 学校、保育園、地域開放型図書館の複合施設として建設し、体育館は改修して使用することを前提に、設計業者にはいくつかの配置案を提示してもらい、一案に絞り込むこととした。

◆ 最終的に残ったのはオーソドックスな2階建て案と3階建て案。建設費はどちらも概ね変わらないことをふまえ、敷地の有効活用と校舎の使いやすさを検討した結果、3階建ての配置計画とすることとした。

◆ 当初は、給食センターと校舎間を渡り廊下でつなぐ予定であったが、敷地の有効利用を図る(北側駐車場と校舎南側を往来できるようにするなど)ことを優先し、渡り廊下を設けないこととした。

◆ **1階**には保育園と地域開放型図書館(あいかぜ図書館)、職員室、**2・3階**に普通教室・特別教室のほか、多目的室、教育活動室を両階に配置する。

◆ 床面積は約3,000㎡。駐車場は44台分を確保している。

◆ **玄関**は南西側と北側の2箇所に配置する。

(南西側を児童生徒と教職員、北側を保育園、図書館、一般開放及び車椅子の方用の玄関とする。)

◆ 職員室は、児童生徒・来校者を確認できるよう1階玄関横に配置し、窓を設ける。

◆ 教室の大きさは7m×7m。(開校時に想定される児童生徒数を考慮し、現在の聚富小中学校、望来小学校と同様の大きさである。)

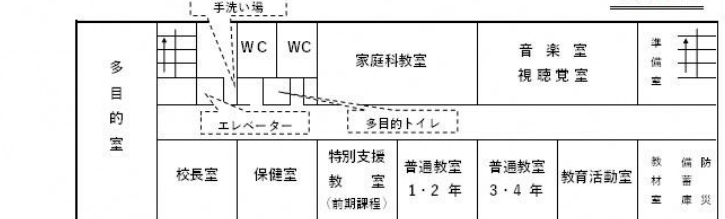
◆ 給食の搬送と体の不自由な方への対応のため、エレベーターを設置する。

(仮称)厚田小中学校校舎配置図

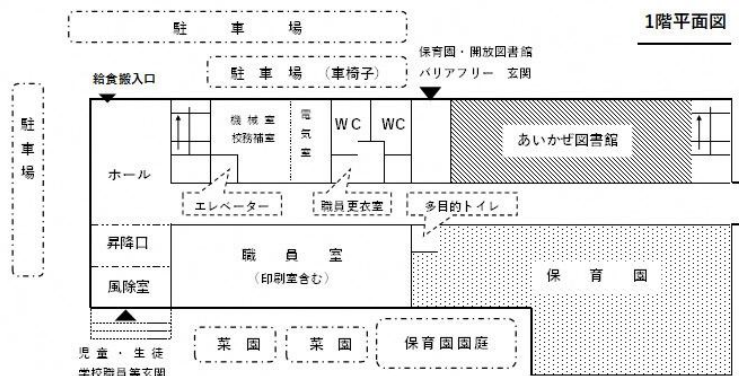
3階平面図



2階平面図



1階平面図



↓ グラウンド ↓

◆ 2階

校長室、保健室、小学校段階の特別支援教室のほか、小中一貫校（義務教育学校）の学年の区切りを意識し、小学校1～4年生までの普通教室と特別活動室、家庭科教室、音楽・視聴覚教室、多目的室、防災備蓄庫を配置している。

◆ 3階

小学校5・6年の普通教室、中学校段階の普通教室と特別支援教室、特別活動室、多目的室、理科教室、図工美術・技術教室を配置している。

（2階と3階の特別活動室は、児童生徒会室のほか、複式から単式の学級編成になった場合には普通教室として使用することを想定）

◆ 保育園（1階部分）

保育園内の間取りの詳細について、現在、設計業者と検討中である。新校舎内に設置する厚田保育園は、平成27年4月に国が定めた「子ども・子育て支援新制度」のうち、地域型保育への移行を視野に入れつつ、当分の間はその一つである定員19名以下の小規模保育事業として、0歳のお子さんから預かることができるような施設設計を行っている。また保育料については、小規模保育事業への移行により、認可保育所等に準じることとなり、現在の減免制度ではなく、石狩市教育・保育の実施に関する規則に定める金額となる。このことにより、保育料は市町村民税所得割合算額や年齢等、個々のケースによって変わることとなる。

◆ 今後は、校舎の概観や実施設計（詳細の設計図面）の作業段階に入っていくが、厚田の学校という特色を出せるよう検討していきたい。

主な質疑

● 特別支援教室の間仕切りはどのように考えていますか。

⇒ 例えば「情緒」「知的」というように複数学級となる場合には、間仕切りが必要となりますので、開校時以降の状況にも対応できるよう、間仕切りを設置する予定です。

● 屋根の形や利用はどうなっていますか。

⇒ 真四角な形で、防水をして回りが立ち上がるような設計を考えています。屋上の使い方は未定ですが、図面資料の左上（面積表）に塔屋について記載しており、屋上に上られるように設計しています。

● 内部の仕切りやドアなど細かな部分について、今後報告をしていただく場面はありますか。

⇒ 後から日程の説明をいたしますが、2月に実施設計が仕上がったときに、ご報告させていただきます。

● 体育館はこのまま使うことになるのですか。

⇒ 改修して使うことになります。どこを改修するかはこれから検討していきます。

教育課程部会の活動が始まります

今年2月の第5回会議で、当設立準備委員会に付属する「教育課程部会」を設置することが決まりました。

教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、児童生徒の心身の発達に応じ授業時数との関連において総合的に組織した教育計画のことをいいます。

学校の教育課程編成は、校長が責任者となって教職員の協力のもとに行われますが、編成にあたって基本となる「めざす学校像・児童生徒像・教師像」、「教育目標」、「学校経営方針」については、関係4校の校長の協議によって策定することとしました。

教育課程の具体的内容は、分科会によって原案を作成することとし、分科会の代表は教頭が担当し、具体的な編成作業は関係4校の校長がそれぞれ指名した各校代表者が担当します。設定する分科会は次のとおりで、今後計画的に作業を進め、その内容を設立準備委員会に報告することとしています。

- ① 移転・受け入れ分科会
- ② 9年間を見通した教育課程分科会
- ③ 新しい学校の特色づくり分科会
- ④ 新学習指導要領への対応分科会
- ⑤ 地域連携分科会
- ⑥ 少年団・部活動分科会
- ⑦ 閉校開校準備分科会

（仮称）厚田小中学校設立準備委員会事務局
（石狩市教育委員会 総務企画課内）

電話 72-3169 / FAX 75-2276

E-mail soumu-k@city.ishikari.hokkaido.jp

第7回会議は、来年2月の開催を予定しています。